

# B+COM SB6Xの構成

B+COM SB6Xは、  
下記のような構成になっています。

## セット内容

製品パッケージには以下のパーツがセットされています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。方が不足がございましたら、お手数ですがお問い合わせいただいた販売店までご連絡ください。  
※カッコ内は「ペアユニット」にセットされている数量です。

- SB6X 本体ユニット ×1台 (2台)
- アームマイク ×1本 (2本)
- ワイヤーマイク ×1本 (2本)
- マイクレスキャップ ×1個 (2個) ※本体に装着梱包
- アームマイク用スポンジ ×1個 (2個)
- ワイヤーマイク用スポンジ ×1個 (2個)
- スピーカー固定用調整パッド ×4枚 (8枚)
- スピーカー固定用面ファスナー (オス・メス) ×各2枚 (各4枚)
- 充電用 USB Type-Cケーブル (アップデート時にも使用) ×1本 (2本)
- ユーザーズマニュアル 兼保証書 ×1部
- クイックマニュアル (本書) ×1部
- ベースプレート ×1個 (2個)
- ワイヤークリップ ×1個 (2個)
- スピーカーハーネス用固定クリップ ×1個 (2個)
- ベース用保護ラバー ×1枚 (2枚)
- ベース用面ファスナー ×1枚 (2枚)
- ベース用両面粘着シート ×1枚 (2枚)
- ヘルメットスピーカー ×1個 (2個)

### スピーカー固定用面ファスナー (ベルクロテープ)

スピーカーをヘルメットに固定します。外面が接着シート、内面がファスナーなので、スピーカーの取り外しが簡単です。



### スピーカー固定用調整パッド

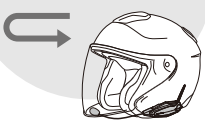
ヘルメットのイヤークラックが深い等の場合は、必要に応じて間に調整パッドを入れ調整してください。

ヘルメットスピーカーR/L  
径40mm、厚み約10.8mmの薄型、  
高音質ステレオスピーカーです。

### スピーカーハーネス用固定クリップ

スピーカーケーブルが遊ばないようにベースプレートへ固定するためのラバークリップです。(裏面 STEP 6 参照)

ヘルメットへの  
取り付け手順は  
裏面をご覧ください。



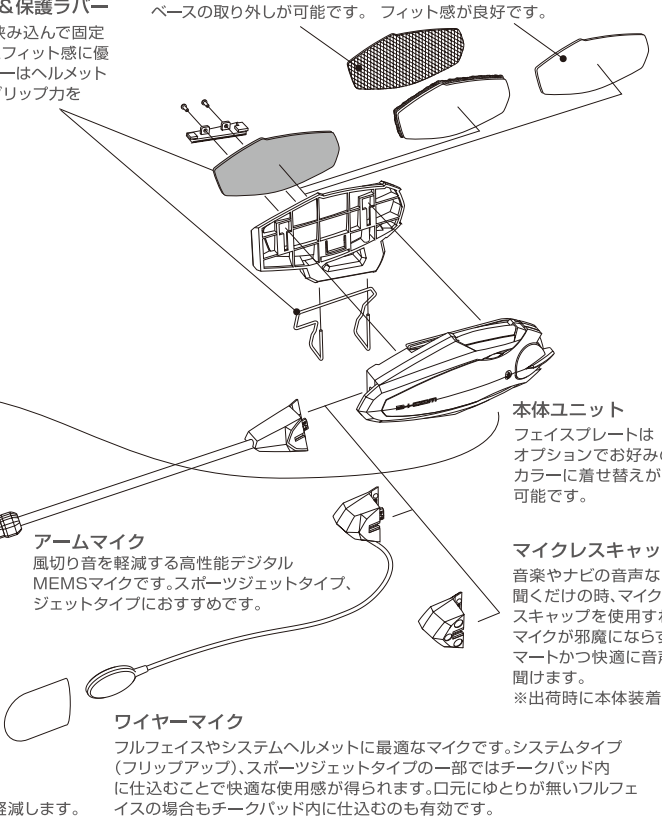
### ワイヤークリップを使用

ワイヤークリップ&保護ラバー  
ヘルメットの帽体に挟み込んで固定します。高い固定力とフィット感に優れています。保護ラバーはヘルメットへの傷つき防止と、クリップ力を高めます。

### 貼り付けて使用

ベース用面ファスナー  
外面が接着シート、  
内面がファスナーなので、  
ベースの取り外しが可能です。

ベース用両面粘着シート  
外側、内側ともに接着シートなので、ベースの脱着はできませんが、面ファスナーよりもフィット感が良好です。



本体ユニット  
フェイスプレートは  
オプションで好みの  
カラーに着せ替えが  
可能です。

マイクレスキャップ  
音楽やナビの音声などを  
聞くだけの時、マイク  
レスキャップを使用すれば  
マイクが邪魔にならず  
スマートかつ快適に音声  
を聞けます。  
※出荷時に本体装着

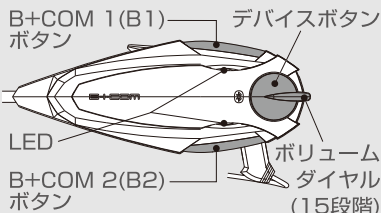
アームマイク  
風切り音を軽減する高性能デジタル  
MEMSマイクです。スポーツジェットタイプ、  
ジェットタイプにおすすです。

アームマイク用スポンジ  
マイクに被せる事で物理的に風切り音  
を軽減します。必ず使用してください。

ワイヤーマイク用スポンジ  
フルフェイスの口元にマイクを設置する  
場合は必ず使用します。スポンジを口元  
に貼り付け、スポンジのポケットにマイ  
クを挿入する事で物理的に風切り音を軽減します。

ワイヤーマイク  
フルフェイスやシステムヘルメットに最適なマイクです。システムタイプ  
(フリップアップ)、スポーツジェットタイプの一部ではチェックパッド内  
に仕込むことで快適な使用感が得られます。口元にゆとりが無いフルフェ  
イスの場合もチェックパッド内に仕込むのも有効です。

## 使用方法



## STEP 1 電源を入れてみよう

ALL リセットにつきましてはユーザーズ  
マニュアルをご参照ください。

電源ON	電池残量通知	スタンバイ	電源OFF
<p>押したまま、 上へ 1秒間 回す</p> <p>LED 青1秒間点灯 音 1秒間起動</p>	<p>LED 80%以上...青 1秒間点灯 50%以上...青+赤 1秒間点灯 30%未満...赤 1秒間点灯 要充電...赤 2回点滅</p> <p>音 電池残量00% 充電してください(要充電の場合)</p>	<p>LED 青点滅</p>	<p>押したまま、 下へ 1秒間 回す</p> <p>LED 赤1秒間点灯 音 ビーコム終了します</p>

※ご使用前には必ず充電してください。長期間使用しなかった場合、デバイスボタンが一時的に硬くなる場合があります。

## STEP 2 スマートフォンと接続して音楽や電話をしてみよう

1 B+COMとスマートフォンをペアリング(初期登録)する。

2 電源OFFを確認

3 スマートフォンの操作 (iPhoneの例)  
設定→Bluetooth→ON  
「その他のデバイス」等のリスト【B+COM6 V.O.O】を選択。  
「自分のデバイス」等のリスト【B+COM6 V.O.O】が「接続済み」

4 B+COMの表示  
LED 青 フェード点滅  
音 「デバイス1接続」  
完了です。

一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに自動で接続が可能です。

II 音楽やラジオ(アプリ)、ナビ音声案内を聴く。

- スマートフォンの操作: アプリを起動し再生します。
- 音量調整: ポリウムダイヤル 上に1回→1段階+ / 下へ / 下に1回→1段階-
- 再生/一時停止: デバイスボタン 1クリック毎 再生 ⇄ 停止
- 曲の頭出し/スキップ: ポリウムダイヤル 上に1秒間→スキップ / FF / REW / 下に1秒間→頭出し

※AVRCP機能があるデバイス・アプリのみ対応。

III ハンズフリーで通話する。

着信/通話: 音楽再生中は曲が停止し、着信音が出力されます。  
デバイスボタン 1クリックで電話に回答 / 通話中に1クリックで終話 ※音量調整はIIと同じ操作

発信: 最後の発信履歴へリダイヤル発信可能です。  
デバイスボタン 3秒間長押し リダイヤル

IV Siri等の音声認識起動

デバイスボタン 2クリック

※上記II~IVは、Bluetooth接続済みで可能な動作となります。  
ペアリング後、電源OFFした場合は、B+COMを起動してオートコネクトで再接続を確認してください。  
スマートフォン側でBluetoothをOFFにした場合は、ONにして登録済みの【B+COM6 V.O.O】を選択して接続を行ってください。

## STEP 3 B+COM同士で通話してみよう

☑ B+LINK™

● SB6X同士のB+LINK通話の場合

I SB6X同士を最大4台で同時にペアリング(初期登録)する。

- みんなで近くに集まり電源オンを確認 (LED 青点滅)
- みんなで B1/B2を同時に3秒間長押し (LED 緑 高速点滅 音 B+LINKグループ登録)
- 誰か一人 B1/B2を同時に1回押し (LED 緑点灯 音 サーチ開始)
- 30秒程度待つ 自動で会話が始めれば完了 (LED 緑 フェード点滅 音 B+LINK開始)

この操作(ペアリング)は、グループが集めた際に最初だけ必要です。

II ペアリング済みのSB6X同士でB+LINKグループ通話する。

- 電源をオンにしアンテナを立てる
- 誰か一人 B1/B2を同時に1回押し (LED 緑点灯 音 ポンッポン(呼出音))
- 自動で会話が始めれば完了 (LED 緑 フェード点滅 音 B+LINK開始)
- B+LINKを切断 通話中に1回押し (LED 青点滅 音 B+LINK終了)

● SB5X、SB4X/Liteとの通話の場合

I SB5X、SB4X/Liteとペアリング(初期登録)する。

2人目の5X/4X  
B+COM1または、B+COM2 ボタンを使用して1人ずつ行います。  
1人目の5X/4X  
B+LINK通話と組み合わせる場合は、必ず B+COM2ボタン に登録します。

● B+COM2ボタンに登録する場合

- SB6Xの操作: 電源オン状態 B2を3秒間長押し (LED 赤 高速点滅 音 B+COM2ペアリング)
- SB5Xの場合: 電源オン状態 3秒間長押しを2回
- SB4Xの場合: 電源オン状態 6秒間長押し
- SB6Xの表示: 自動で会話が始めれば完了 (LED 青点滅 音 B+COM2接続)

II ペアリング済みのSB5X、SB4X/Liteと接続して通話する

- 電源をオンにしアンテナを立てる
- 接続は5X/4X側から SB5X/4Xの操作: 距離が離れて切断した場合も同様です。 6Xとペアリングしたボタンをクリック
- SB6Xの表示: 自動で会話が始めれば完了 (LED 青点滅 音 B+COM2接続)

接続後の通話のON/OFF  
通話状態  
5X/4Xとペアリングしたボタンをクリック  
通話OFF ⇄ 通話ON

# 取り付け手順

B+COM SB6Xの音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

## 装着時の注意点

●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。●内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておくと、作業がスムーズに進みます。●接着シートで貼り付けるパーツは、取り付け位置を仮決めて、操作に支障がないことを確認した後、接着面の清掃、脱脂を行ってから貼り付けてください。●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間にに入れてください。●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。●ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

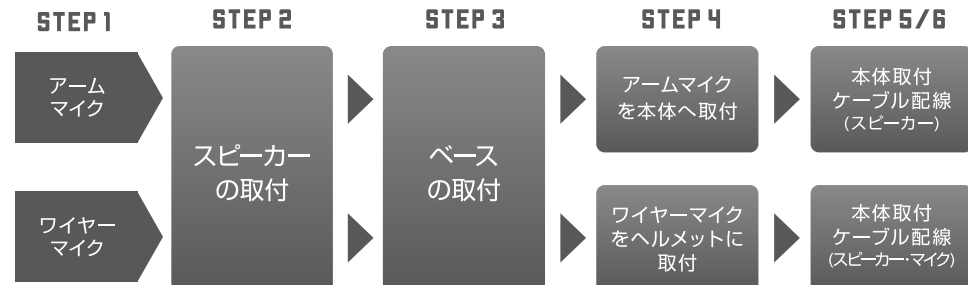
## STEP 1 ヘルメットに合うマイクと、取り付け手順を確認しよう

I ヘルメットの種類に合わせてマイクを選びます。

アームマイク	フルフェイスタイプ	システムタイプ	スポーツジェットタイプ	ジェットタイプ
ワイヤーマイク	△	△	○	○
アームマイク	○	○*	○*	×
ワイヤーマイク				

※チークパッド内に入るタイプのみ

II マイクの種類に合わせて順番に取り付けます。



## STEP 2 スピーカーを取り付けよう

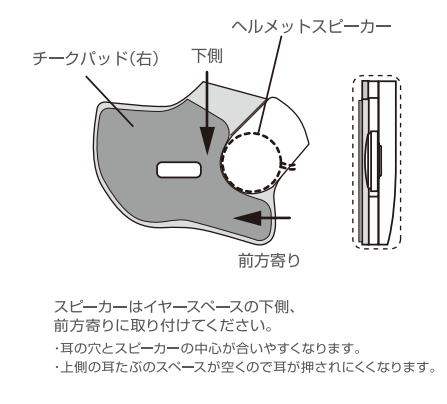
### イヤースペースが見えるタイプ (SHOEI社製、ジェットタイプなど)

面ファスナーをスピーカー設置場所のヘルメット面にメス側、スピーカーの裏面にオス側を貼り付けスピーカーを固定します。



### チークパッド(システムパッド)のイヤースペースが布で覆われ脱着できるタイプ(Arai社製など)

チークパッドを取り外し、布の中へスピーカーを入れて面ファスナーで固定してください。

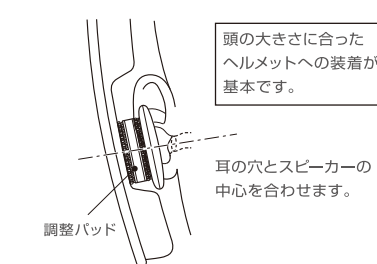


## 重要 POINT

### 取り付ける前に本来の音量・音質を確認しましょう!

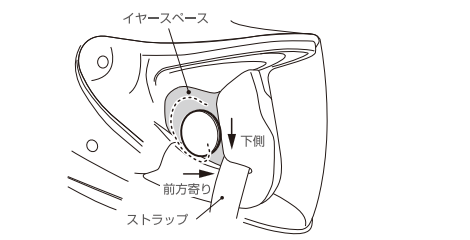
スピーカー単体を耳にあてて本来の音量や音質を確認しておきましょう。ヘルメットを被った際、ほぼ同じように聞こえることが重要です。位置が適正でない、「耳が痛い」、「スピードを上げると聞こえない」、「(音量を上げると)ノイズがひどい」といった症状になります。

#### 耳にやさしくフィットするよう調整パッドで隙間を調整してください。



- 隙間が大きい  
→本来の音量、音質が得られない可能性があります。
- 耳の中心からずれている  
→本来の音量、音質が得られないだけでなく、長時間の使用で耳が痛くなる可能性があります(特に耳の上部)。

#### スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに、ストラップの付け根に寄せるように取り付けてください。



- 耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
- 上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなり使用中に耳が痛くなりやすくなります。

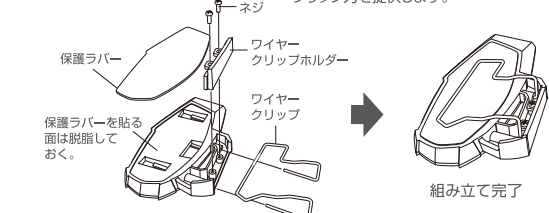
## STEP 3 ベースを取り付けよう

組立には精密ドライバー#1が必要になります。

ベースの取付方法は3種類ありますので、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。また、アーム型マイクを使用する場合は、マイクが口元の位置になるようにアームの長さを考慮の上、ベースの位置を仮決めてください。

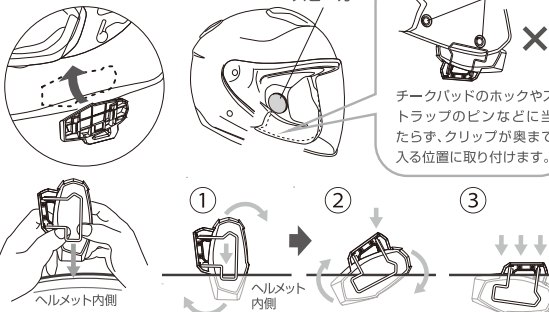
### ワイヤークリップを使用

●ワイヤークリップの組み立て



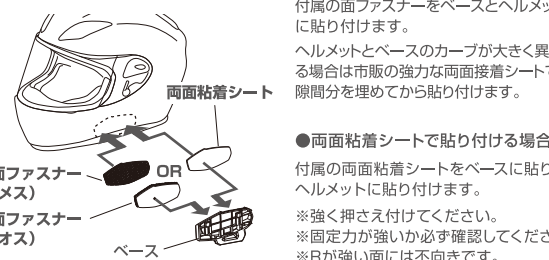
①の精密ドライバー(#1)でネジ、ワイヤークリップホルダーを取り外します。保護ラバーのシールをはがし貼り付けます。ワイヤークリップをはめ込み、外したワイヤークリップホルダーを取り付け、ネジで確実に固定します。

●ワイヤークリップの取り付け



クリップを爪で押し上げ、ヘルメット帽体と内装の隙間にはさみます。クリップの先端部分が引っかかり、押し込みながら回転させてヘルメットの下辺と平行になるまで緩めます。クリップ全体が挿入されたら位置を調整しながら奥まで挿入します。

### 貼り付けて使用



- 面ファスナーで取り付ける場合  
付属の面ファスナーをベースとヘルメットに貼り付けます。ヘルメットとベースのカーブが大きく異なる場合は市販の強力な両面粘着シートで隙間を埋めてから貼り付けます。
- 両面粘着シートで貼り付ける場合  
付属の両面粘着シートをベースに貼りヘルメットに貼り付けます。  
※強く押さえてください。  
※固定力が強いが必ず確認してください。  
※Rが強い面には向きません。

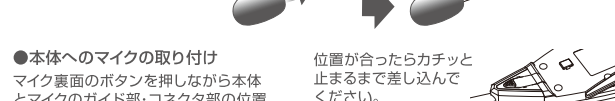
- ❗ 貼り付けする面は必ず脱脂を行ってください。
- ❗ 貼り付け後、約12時間保管しご使用ください。

## STEP 4 マイクを取り付けよう

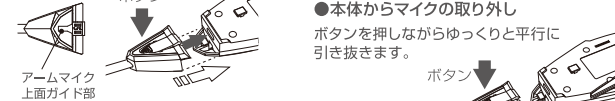
マイクの脱着はベースから本体を外してから行ってください。

### アームマイク

●マイクスポンジの取り付け

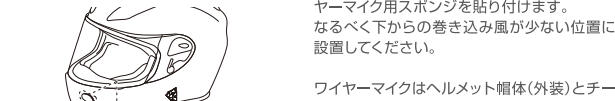


●本体へのマイクの取り付け

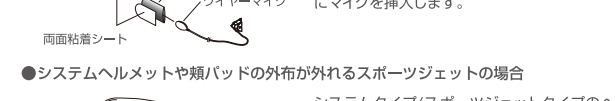


### ワイヤーマイク

●マイクスポンジの取り付け



●システムヘルメットや頬パッドの外布が外れるスポーツジェットの場合



システムタイプ/スポーツジェットタイプのヘルメットでは、シールドの開閉時にマイクが邪魔にならず快適な使用感を得られます。マイクの位置は頬とスポンジに挟まれるできる限り口元に近い位置に入れます。  
※スポーツジェットの場合、アームマイクに比べ声を拾う大きさは小さくなります。

●本体へのマイクの取り付け

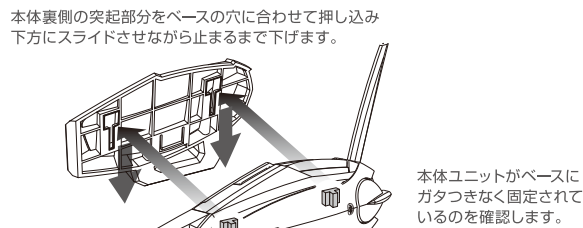


### マイクについての注意点

- マイク用スポンジは必ず使用。物理的に風切り音を軽減します。
- マイクは、シールドの中に入るよう淵から離し、図のように口元に位置を合わせます。口元に合わせる際は無理に曲げたり引っ張ったりしないように注意してください。落下の原因となります。

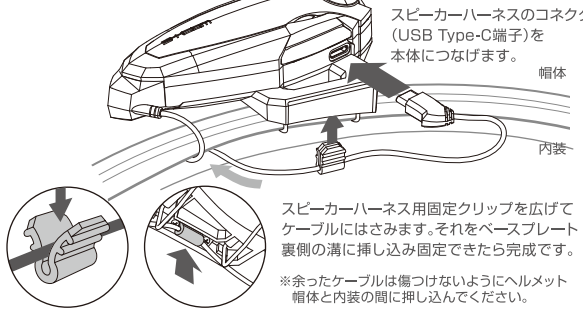
## STEP 5 本体を取り付けよう

●本体ユニットのベースへの取り付け



## STEP 6 ケーブルを配線しよう

●ケーブル(ワイヤー)の接続



ワイヤーマイクと本体ユニット間のケーブル、ヘルメットスピーカーと本体ユニット間のケーブルは、内装とヘルメット帽体の間に通してください。クラシックジェットタイプ等内装が外せない場合は、ヘルメット淵の帽体と内装の間にスピーカーケーブルを傷つけないように押し込んでください。



❗ ケーブルの、折り曲げ、引っ張り厳禁!

それでもわからない場合は! サインハウスカスタマーサポートをご利用ください!

お電話で 044-400-1979  
インターネットで sygnhouse.jp/support/